

第3回 JICA 海外協力隊社会還元表彰 式典を実施・大賞が決定しました！！

JICA では、JICA 海外協力隊の事業目的の一つである「ボランティア経験の社会還元」事例を収集し好事例として紹介することで、協力隊経験者の社会還元の機運を高めると共に、より良い社会の実現を目指しています。

7/14(月)には JICA 麹町にて、帰国後 20 年以内の JICA 海外協力隊経験者で、国内外・公私問わず社会課題の解決に取り組んでいる方を表彰する『帰国隊員社会還元表彰』の第 3 回式典を実施。50 名の応募者から各賞に選出された 7 名が活動内容をプレゼンし、選考委員による審査の結果、大賞は NPO 法人アレッセ高岡代表として「CLD 青少年のための学習支援・情報支援と市民性教育による社会変革への挑戦 (Culturally Linguistically Diverse)」に取り組まれている青木由香 (あおき ゆか) さんに授与されました。



大賞を受賞した青木氏 (左) と田中 JICA 理事長 (右)



受賞者・審査員・JICA 理事長・理事集合写真。前列左より糸井氏、星野氏、庄田氏、宮崎審査委員長、青木氏、田中 JICA 理事長、近藤氏、安田氏、山路氏、後列左より大塚局長、矢島審査員、寺尾審査員、河内審査員、渡部審査員、小林 JICA 理事。

大賞の青木さんを含む7名の受賞者によるプレゼンでは、業種業界、アプローチの仕方は異なるものの様々な背景や課題を抱える子どもたちや災害で被災した方々への支援、スポーツと開発の取り組みなど、協力隊で培った経験が現在の取り組みに繋がっている点が共通して発表されました。審査委員長である宮崎副理事長からは「途上国、日本が共通して抱える社会課題に対し、海外での取組み経験を日本国内にも還元する、そしてその経験をまた海外に生かしていく『環流』が大事。青木さんによる高岡での取り組みは協力隊経験を直接国内で活かしているものであり、今の日本にとって、また今後の協力隊経験者にとって非常によいモデルケースになる」とコメントがありました。

また、田中理事長からは、「協力隊事業の主な目的の一つとして定められている「ボランティア経験の社会還元」は、多文化共生の推進や海外協力隊経験者の日本の地域開発への貢献への期待として高まっており、その期待は閣議決定された「地方創生 2.0」の基本構想や開発協力大綱にも示されています。今回ご応募いただいた取組は、これらの期待をまさに実践いただいているものであり、海外協力隊の経験が、多様な分野において社会課題解決に活かされていることを改めて証明できたと感じています。JICA は自信をもってこの協力隊の貢献について国内外に発信していくと共に、多くの市民の皆様にも JICA 海外協力隊についてますます理解を深めていただく機会を広げて参りたいと考えています。」とコメント。今後も JICA が 帰国後の社会還元活動を積極的に協力・支援をしていくことが語られました。



ネットワーキングイベントでの OV6 団体による事業紹介

式典後はネットワーキングイベントを開催。同イベントでは OV が起業した 6 団体による事業紹介等を実施し、参加者同士の活発なネットワーキングが行われました。受賞者を含む帰国隊員や、協力隊のサポーター宣言企業や団体、本表彰を後援する日本商工会議所、全国地

方新聞社連合会、外務省、また多数の報道機関の皆さまなど合計 100 名以上の方に参加いただく盛況な会となりました。

改めまして本表彰の実施にあたり、ご応募をいただいた帰国隊員の皆さま、多方面からご支援いただいた関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

■ 各賞の受賞者詳細 ■

大賞・多文化共生賞	
氏名	青木 由香 隊次：2005 年度 0 次隊 任国：ブラジル 職種：日系日本語学校教師 現在：NPO 法人アレッセ高岡 代表 
活動拠点	富山県
取組名称	CLD 青少年のための学習支援・情報支援と市民性教育による社会変革への挑戦 (Culturally Linguistically Diverse)
活動内容	2010 年から外国につながる子どもたちの学習支援を開始し、NPO 法人アレッセ高岡を立ち上げ約 260 人の進学を支援。コロナ禍ではオンライン学習も導入し、外国人散在地域の課題解決に取り組む。子育て・教員等の多言語資料の作成や高校進学説明会を通じて教育情報支援を行い、2020 年からは「市民性教育事業」を開始。地域の日本人や支援者も対象に、多文化共生を目指す講座やイベントを開催。2023 年度には学びのニーズ調査を実施し、提言書を県知事に提出。2024 年度からは JICA 北陸と協働し、多文化共生のネットワーク形成を進めている。 
当日プレゼン動画	https://www.youtube.com/watch?v=0ZfshcuRISU&t=1556s
関連リンク	https://www.alece.org/

アントレプレナーシップ賞

氏名	星野 達郎 隊次：2013年度3次隊 任国：グアテマラ 職種：小学校教育 現在：株式会社 NIJIN 代表取締役	
活動拠点	東京都	
取組名称	不登校オルタナティブスクール「NIJIN アカデミー」	
活動内容	 不登校問題の解決を目指し、2023年9月に開校したオルタナティブスクール小中一貫校。現時点で全国40都道府県から480名超が入学し、メタバース本校舎と全国26キャンパスをもつハイブリッド型教育機関。多様性・主体性・選択性を土台にし、多様な社会のステークホルダーと共創し日本中を学び場にする教育共創モデルを確立。公教育を持ち運び可能にした独自モデルにより、53の企業・機関と連携し学校の時間帯に新しい教育・市場を創出している。	
当日プレゼン動画	https://www.youtube.com/watch?v=0ZfshcuRISU&t=457s	
関連リンク	https://www.nijin.co.jp/	

地域活性化賞

氏名	庄田 清人 隊次：2014年度2次隊 任国：マラウイ 職種：コミュニティ開発 現在：一般財団法人 ちくご川コミュニティ財団 副理事長	
----	---	---

活動拠点	福岡県
取組名称	コミュニティ財団による地域の社会課題解決の仕組みづくり
活動内容	<p>2020年ちくご川コミュニティ財団が休眠預金活用事業の資金分配団体に選定されたことによりプログラムオフィサーとして財団に入職。2021年から理事/事業部長として「子ども若者応援助成」等の独自の助成プログラムや休眠預金活用事業の統括を担当。協力隊派遣中の経験を活かし、地域住民やNPO等と協力しながら、住民参加型ワークショップや問題分析を通じて地域の社会課題解決を目指す包括的なプログラムの企画・運営を行っている。</p>
	
当日プレゼン動画	https://www.youtube.com/watch?v=0ZfshcuRISU&t=1090s
関連リンク	https://c-comfund.com/

開発協力実践賞	
氏名	<p>近藤 咲</p> <p>隊次：2016年度1次隊</p> <p>任国：グアテマラ</p> <p>職種：小学校教育</p> <p>現在：NPO法人幸縁 代表理事</p>
	
活動拠点	愛知県（グアテマラ）
取組名称	グアテマラの子どもの教育向上を通じた幸縁（しえん）活動
活動内容	<p>NPO法人幸縁を立ち上げ、①奨学金事業では、グアテマラの小学6年生を対象に中学3年間の学費を支援し、学習意欲のある子供に学びの機会を提供（2025年2月実績：27人）。②国際交流事業では、日本人とグアテマラ人がオンラインで英語交流し、国際教育の機会を提供（2025年2月実績：全国24校、約2500人と交流）。③英語プログラム事業では、奨学生</p>
	

	の英語学習を支援し、独自教材でオンライン指導（2025年6月実績：88人のボランティア）。④現地学習塾事業では、基礎学力向上とリーダーシップ育成を目的に学習塾を開校（2025年6月実績：30人の塾生と9人の現地スタッフ）。
当日プレゼン動画	https://www.youtube.com/watch?v=0ZfshcuRISU&t=2106s
関連リンク	https://www.shien100.org/

審査員特別賞（共生社会）

氏名	<p>安田 一貴</p> <p>隊次：2011年度1次隊</p> <p>任国：ウズベキスタン</p> <p>職種：青少年活動</p> <p>現在：笑顔の向こうに繋がる</p> <p>未来プロジェクト PLAY&PHOTO Studio 代表</p> <p>写真家・理学療法士・Hospital play specialist</p>	
活動拠点	神奈川県	
取組名称	笑顔の向こうに繋がる未来プロジェクト PLAY&PHOTO Studio【出張写真撮影】	
活動内容	<p>病気や障がいがある子どもとその家族のもとへ出張し、特性やニーズに寄り添った写真撮影を提供する活動を実施。協力隊や理学療法士の経験を活かし、医療的ケアやリスク管理に配慮しながら、遊びを取り入れた安心できる撮影環境を創出。七五三や卒業入学等の撮影では、美容師や服飾デザイナーと連携し、バリアフリー仕様の衣装を提供。写真を通じて、その子らしさや家族らしさを感じられる特別な瞬間を届け、思い出を蘇らせる写真を目指している。</p>	
当日プレゼン動画	https://www.youtube.com/watch?v=0ZfshcuRISU&t=2674s	

関連リンク	https://playphotostudio.com
-------	---

審査員特別賞（災害支援）	
氏名	山路 健造 隊次：2014年度2次隊 任国：フィリピン 職種：コミュニティ開発 現在：一般社団法人多文化人材活躍支援センター 代表理事 
活動拠点	石川県
取組名称	能登半島地震・奥能登豪雨で被災した外国人住民の居場所づくり
活動内容	 <p>輪島市では、地震後に外国人住民が約半分に減少。若い外国人材の重要性が増す中で、彼らが安心して生活できる環境整備を促進。地震直後には外国人住民による炊き出しを実施し、その後輪島市に移住して住民の一人として、外国人住民の活躍の場や居場所づくりを支援。奥能登豪雨後は、外国人住民への戸別訪問や物資支援を実施。アンケートを通じてニーズを把握し、住宅修復や衣服支援を行う。今後はアンケート対象を拡大し、外国人住民が母語で相談できる体制や民生委員との関係作りによる多文化防災を推進。</p>
当日プレゼン動画	https://www.youtube.com/watch?v=0ZfshcuRISU&t=3126s
関連リンク	https://tabusapo.org/

審査員特別賞（スポーツと開発）

氏名	糸井 紀 隊次：2013年度1次隊 任国：エクアドル 職種：水泳 現在：岐阜県水泳連盟 副理事長	
活動拠点	岐阜県	
取組名称	パラリンピック等の水泳国際審判員として多文化共生社会づくりに取り組んでいる	
活動内容 	日本人唯一のパラ水泳国際審判員として、東京・パリパラリンピック等で活躍し、途上国の選手や関係者に対して協力隊経験を活かしたコミュニケーションと異文化理解能力を発揮し、国際大会運営の問題を分析・解決を支援。これらの経験を講演で共有し、選手・審判員・関係者の共生社会づくりを支援。今後は2025年東京デフリンピック、2026年愛知・名古屋アジア大会で活動すると共に国際協力分野で活躍できる人材育成を目指す。	
当日プレゼン動画	https://www.youtube.com/watch?v=0ZfshcuRISU&t=3616s	
関連リンク	https://gifu-swim.com/9011/	

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 青年海外協力隊事務局 社会還元促進課 社会還元表彰担当 E-mail: jvtpc_sinrosien6@jica.go.jp